発行日：2025(令和7)年6月10日(月) 発行責任者：曽我幸央
発　行：社会福祉法人　中心会　相模原南児童ホーム
〒252-0326 相模原市南区新戸905-1 TEL：046-251-5590
URL https://sagamihara-minami.chusinkai.net/
Email：sagamihara-minami@chusinkai.jp

相模原南児童ホーム通信

ふうせんかずらの活動報告

4月30日･5月1日･5月2日の3日間、里親リクルート研修を行いました。
NPO法人家庭養育支援機構のメインファシリテーター1名、グループファシリテーター3名をお迎えし1日目はZOOM、2･3日目はふうせんかずらを会場に相模原市こども家庭課の職員1名、相模原市児童相談所の方2名、相模原南児童ホーム曽我所長、ふうせんかずらの職員7名が参加しました。
内容は、
①間口を広げて多くの方に里親なりたいと思っていただく。
②里親になる意向の方は児童相談所への問い合わせの段階、里親になるか決められないか人は「理解」「検討」の段階でつまずいている
③デザイン思考のアプローチが里親リクルートの課題解決に有効。
という考え方の元を受講しました。
デザイン思考のアプローチとは、
◎潜在里親の声や、里親等委託率の前段階となる中間の指標を追跡し、継続的に施策を改善する根拠･仕組みをつくること。
◎潜在的に里親となりうる方に共感し、単発の施策ではなく、潜在里親の目線から見た一連の体験を設計すること。
この2つが重要で、研修は6名程度のグループに分かれ、様々なワークを行いました。
事例検討として架空の人物2名のモデル（ペルソナ）を決め、その方が里親登録するために、どのようなリクルート施策が必要か考えました。また、実際行っている施策がペルソナに届き、里親になるための何らかの動きを起こすきっかけだったか想像することも行いました。
今回の研修の全ての回から、広い視野でリクルート活動を考える意味や、実現するためにどうするか迄じっくり考えることができ、今後、相模原市の中で実践していけるリクルート研修になりました。(ふうせんかずら　内山)

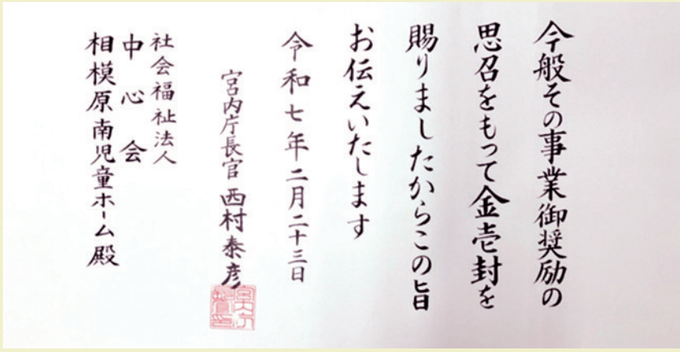
<問い合わせ先>
相模原市里親養育包括支援センター
「ふうせんかずら」
〒 252-0231相模原市中央区相模原5-1-20
南栄ビル402　**電話 042-704-8433**
(平日 土日祝日 午前9時～午後6時)

ふうせんかずら
ホームページ

御下賜金伝達式が行われました

相模原南児童ホーム　所長　曽我 幸央

4月3日（木）相模原市役所にて御下賜金伝達式が行われました。御下賜金とは、毎年、天皇陛下誕生日（2月23日）に際し、天皇陛下より社会福祉事業御奨励の思召をもって、各都道府県･政令指定都市の優良民間福祉施設又は団体に対して金一封を下賜されるものです。開設11年目にして、優良民間福祉施設として認められたことは大変に光栄なことです。
これからも、子ども達のために、拝受するのに相応しい施設運営に取り組んで参ります。


今般その事業御奨励の
思召をもって金壱封を
賜りましたからこの旨
お伝えいたします
令和七年二月二十三日
宮内庁長官 西村泰彦
社会福祉法人
中心会
相模原南児童ホーム殿

くすのき学習教室について

相模原南児童ホーム　副所長　手塚 賢二

今年度も相模原南児童ホーム施設内にて実施致します。

5月1日現在生徒数は35名です。
くすのき学習教室は、小学生の学習支援を行うことで、基礎でつまずいた子どもが理解できるようになる。さらに、勉強が嫌いな子ども達が勉強を好きになり、将来に夢が持てるよう子ども達の育成を図ります。学習支援の対象は基本、小学生を対象にしております。
条件は塾へ通っていなければ誰でも参加できます。費用は無料です。なお、この事業は、新磯地区社会福祉協議会が主催、相模原南児童ホーム共催のもと行なっております。

（1）学習場所について
相模原南児童ホーム、会議室にて行います。
（2）実施日時について　<無料>
学習は毎月、第2･第4の土曜日
また第5土曜日には制作等行います。
（3）実施時間について
小学1年生～3年生 ⇒　9時～10時00分
小学4年生～6年生 ⇒10時10分～11時50分
（休憩15分有）

申し込み･問い合わせ先
くすのき学習教室
社会福祉法人　中心会　相模原南児童ホーム内
〒252－0326　相模原市南区新戸905－1
TEL：046－251－5590
FAX：046－251－5591
e-mail：sagamihara-minami@chusinkai.jp
担当：二瓶･手塚･曽我

ご寄付お礼 【2025年1月～3月】

株式会社セクメット　瀬戸 誠　様／豊浦 正道　様／株式会社ザ･シティ相模大野店　様／株式会社 Gen Mark Corporationサンラッキー相模原店　様／鈴木 由郎　様／相模友の会　様／学校法人 和泉短期大学　様／金 徳信　様／中野 浩平　様／藤田 憲子　様／公益財団法人 日本児童養護施設財団　様／高田 一美　様／アサヒビール株式会社吹田工場 エンジニアリング部　内田 光喜　様／株式会社 SL Creations　様／株式会社晴れ着の丸昌 横浜店　様／日本ベビーフード協議会　様／株式会社角川アスキー総合研究所　様／小山 友里杏　様／守道会館 山本 隆　様／天野 典子　様／公益財団法人那須記念財団　様

いつも熱いご支援、ありがとうございます。

Instagram

インスタグラムをはじめました
相模原南児童ホームの日常の様子をご紹介しています！

子ども達の生活の様子

職員だより

新年度を迎えて

蕾ユニットの子ども達も4月になり、一つずつお兄さんになりました。幼稚園入園、小学校入学もありました。ランドセルを背負った姿、真新しい幼稚園の制服を着た姿が誇らしげで、職員も嬉しい気持ちになりました。周りの皆さんからも「かっこいいよ、かわいいよ」と声を掛けてもらい子ども達もさらにニコニコでした。

平日の朝の支度は大忙しですが、無事に送り出せたときは職員もホッとしています。これからはホームだけではなく、幼稚園や小学校でたくさんの経験を積めることに感謝し、元気な子ども達と、たくさんの経験や思い出を作っていきたいと思います。

4月には幼児フロアで公園外出に行きました。長い滑り台やジャングルジム、ふわふわドームで思いっきり遊びました。子ども達も体を動かして大喜び。みんなで食べたお弁当がとてもおいしかったです。また行こうね。(児童課　鳥井)

相模の大凧祭りに行ってきました

相模原南児童ホームの向かいの相模川では、5月のゴールデンウィークの2日間、大凧祭りが開催されました。相模の大凧祭りは、昔からの相模原の伝統行事であり、小学校ではこの時期にはそれぞれの学年に合わせた凧を作り、揚げるなどの学習も行われています。

近年はコロナの影響もあり、このような大きな行事が開催されていませんでしたが、今年はコロナ前のように大きなイベントが開催さて、南児童ホームで生活している子ども達も、楽しみに出掛けて行きました。

子ども達は、凧を揚げる招待に参加させて頂いたり、色々な出店などで食べ物やおもちゃなどを買ったり、思い思いにとても楽しんで参加していました。
(児童課　廣瀬)

みなみっこ全員集合!!

5月18日(日)に「みなみっこ全員集合」を開催しました。乳児院からお引越しした子ども達、そのご家族と一緒に成長を喜び合うイベントです。退所児26名と保護者、里親、元職員等50名の合計76名が集まりました。

お菓子すくい、ボール入れ、塗り絵などのコーナーを回ってから、シールラリーの景品のお菓子を食べたり、パネルシアターや塗り絵を使った「どんな色が好き」の出し物に参加したり、子ども達は楽しそうな声を聞かせてくれました。

成長した「今」を楽しく過ごせている子ども達を知ることが出来、私達の養育の「つながり」を感じられる機会です。

また来年の「みなみっこ全員集合」でも、どんどん増えていく好きな物や、出来るようになった事の話を直接聞くことが出来るのを、私たち職員はとても楽しみにしています。(乳児課　佐伯)

職員紹介

今年度から児童課の歩ユニットに配属になりました鈴木です。
子ども達に寄り添いながら今の自分にできる事を少しずつ増やして頑張りたいです。そして笑顔の溢れる毎日を子ども達や職員の方と一緒に過ごしていきたいです。
よろしくお願い致します。(児童課　鈴木)

今年の4月から乳児課の職員になりました富永一徹です。

大学では心理学を学び、特に子どもへの支援方法や子どもに関する心理療法等に力を入れて学んできました。そのため保育などの経験はなく、新卒で社会経験が少ないこともあり、上手くいかない事も多々ありますが、誰よりも子ども達を大好きでいること、誰よりも子ども達を認め、肯定できる職員になる事を目標としてこれから様々な事を学び、子ども達と一緒に成長して行きたいと思います。

また、少しでも早く一人前の職員になれるよう努力していきたいと考えていますので、これからご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。(乳児課　富永)

今年度からももすみれユニットの係長になりました。慣れている環境の中でひとつ階段を登りましたが、たくさんの方々に支えられ、今の自分があることを忘れずに係長業務に取り組んでいこうと思います。

可愛いこども達と毎日楽しく過ごします!そして子どもも!職員も!明るく元気で、笑い声がいつでも聞こえるユニットにしていきたいと思います。
(乳児課　出井)

今年度から乳児課さくら・ひまわりユニットに入りました、宍戸優菜です。子どもの生活に長く寄り添った支援がしたいと思い相模南児童ホームに就職いたしました。乳児さんの生活に関わるのは初めてなので大学の授業以上に学ぶ事が多く、驚きと苦悩の毎日ですが、会うたびに子ども達の変化が見られることにやりがいを感じます。子どもにとって居心地の良い支援ができ、子どもの将来を見据えた支援が出来る保育者になれるように精一杯頑張ります。よろしくお願い致します。(乳児課　宍戸)